

過去九ヶ年の星霜を経て漸く竣工を告げた小名濱商港は既に三千噸の汽船も入港、岸壁に横付けとなり試験運となつた完成商港の竣工式は来る五月廿五日の満九周年を記念して盛大に舉行されるが、小名濱協賛會はこの祭ある祝日を最も意義深からしむべく、寄々計畫に没頭してゐるが、協賛會豫算は約一萬圓のよ定で（起工式には約一萬二千余圓）招待來賓一千名と云ふ大多数であり將來商港利用を願ひする向の工場方面、並送回漕店方面までも御招待申上げる筈で、折角多數の來賓が御來場になつても御粗末しては相濟まぬと、宴會場、園遊會場、余興場等には萬全を期すべく、海岸一帶の埋立地は全部何處に行つても余興又は飲食、喫茶の設備を施し海面には當日特に水素工業又は磐炭工交渉して大漁船の入港岸壁に横付けの實際を御視察を願ふ事にし、漁船には萬船飾を施して港内の賑ふ仕向をなし、岬の鼻より防波堤の燈台までは一直線の線を張り萬國旗ならぬ、各漁船の祝旗約二千旒を裝飾し夜

間で電気光は前面を照らし、興を添へ、學生の旗も列、体育協會の埋立地に於ける各種競技、接待方面では平湯本、植田方面藝妓の照援を受け萬遺憾なきを期し、余興では勝太郎、音丸、東洋林太郎等の歌謡、舞踊では栗島澄子、等々の出演を某方面的手をわざらはし無理にも引張り出し來賓を悦ばせる仕向である、もう一つ記念品たるおみやげには何を差上げたら良いかと云ふ事で、まさか懸賞募集も出来まいから、南部鐵瓶が灰皿か、仙台平のはかま地か一層のこと鞄にするかと五圓内外の品物交けに頭痛の程をまいてゐる、福來所長なども處女の様に浮々として落つけぬ模様である

健全第一主義 企業への出發 郡山無盡へ御加入下さい 郡山無盡小平出張所

支部嘱託
入院隨時
保險指定

内森口德加
検査部 若木重
燃に従事す「夜間診療」
席引場登記所先

This image shows a horizontal strip of a Japanese newspaper from 1932. It includes several columns of text and two illustrations. The first illustration is a portrait of a man in historical attire. The second is a small figure of a person in a dynamic pose.